

平成 30 年度青少年「平和と交流」支援事業（ヒロシマ平和セミナー）
平和首長会議の活動についての企画案（抜粋）

提案	概要
加盟自治体平和事業の支援	①平和パネルの制作及び提供 ②原爆ポスターパネル（小学生用）の提供 ③ネットを活用した被爆体験者の証言動画の提供 ④平和事業講演講師データバンク
自治体への講師派遣	平和首長会議から自治体に講師を派遣し、戦争と平和に関する講習、その知識の行政への生かし方、様々な都市の取組実績の紹介、市ごとに合ったアドバイスを行う。
東京 2020 オリンピック競技大会の活用	①ピースアートの作成 ②平和ブース出展 ③SNSでの発信
紙芝居・絵本の作成	若い世代対象に親しみやすい題材の活用、著名人への依頼
ごみ拾いから核兵器廃絶を考える—SNSでの発信—	街のごみ拾いや身の周りを整えるという世界中のどこに暮らしていても誰もがができる「まちづくり」の行動に、核兵器廃絶を訴える意味付けをし、行動する市民や自治体、企業が、「#（ハッシュタグ）」を活用しながら自らSNSで世界に発信する。 また、これらの取組を検索した際に、平和首長会議のホームページが検索上位にあがるようSEO対策を行う。

参加者から提案のあった企画案の一部を掲載しています。